

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.1

授業科目名	歯科英語	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学文学部非常勤講師 内田 愛 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修	選択必修		TEL
学年	1年	2年		携帯
学期	前期	後期		E-mail
曜日・回数	木・金	曜日 15回		
時限	1・2 限	9:00~10:30 10:40~12:10		

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯科専門用語を英語で理解し、世界に通じる歯科技工士を育てる、また歯科技工のグローバル化に対応できる技工士を育成する。

### 授業計画・内容 (進度・予定)

回数	内容	備考	
1 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)	プリント使用	内田 2
2 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)	プリント使用	内田 2
3 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)	プリント使用	内田 2
4 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)	プリント使用	内田 2
5 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)	プリント使用	内田 2
6 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)	プリント使用	内田 2
7 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)	プリント使用	内田 2
8 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)	プリント使用	内田 2
9 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)	プリント使用	内田 2
1回目	dental anatomy word of direction	プリント使用	永嶋 2
2回目	dental Thepermanent teeth, deciduous	プリント使用	永嶋 2
3回目	dental Tooth composition	プリント使用	永嶋 2
4回目	dental Central incisor, Cuspid	プリント使用	永嶋 2
5回目	dental First premolar	プリント使用	永嶋 2
6回目	dental Maxillary first molar	プリント使用	永嶋 2

### 評価方法

total

30

中間試験と学期末テストによって評価する。

### 教科書

最新歯科技工士教本 歯科英語 全国歯科技工士教育協議会編集

### 副読本・資料

各項目ごとのプリント

### その他





# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.4

授業科目名	歯科技工学概論	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
単位	2	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修	選択必修		TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年	2年		携帯 - -
学期	前期	後期		E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月曜日	15回		30時間
時限	4限	14:40 ~ 16:10		

**授業の概要と科目のねらい・到達目標** 歯科技工学にはどのような科目があるかを知り、学ぶべき内容を知る。歯科技工士の業務を規定している歯科技工士法を学び、医療技術者としての自覚を高める。医の倫理についても理解を深める。

到達目標: ①歯科医療の特異性を説明できる。②歯科技工について説明できる。③歯科疾患と歯科技工について説明できる。④歯科技工の材料と器具を説明できる。⑤歯科技工のデジタル化について説明できる。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1回目	第6章 歯科技工で扱う材料・器具	勝田 2
2回目	第1章 歯科医療と歯科技工 1	勝田 2
3回目	第1章 歯科医療と歯科技工 2, 3, 4	勝田 2
4回目	第2章 歯科技工士の役割 1, 2, 3	勝田 2
5回目	第3章 歯および口腔組織の形態と機能 1, 2	勝田 2
6回目	第3章 歯および口腔組織の形態と機能 3	勝田 2
7回目	第4章 歯科疾患と歯周組織の変化 1, 2, 3, 4	勝田 2
8回目	第4章 歯科疾患と歯周組織の変化 5, 6, 7, 8, 9, 10	勝田 2
9回目	第5章 歯科臨床と歯科技工 1, 2	勝田 2
10回目	第5章 歯科臨床と歯科技工 3, 5, 6, 7, 8	勝田 2
11回目	第6章 歯科技工の管理と運営 1, 2, 3	勝田 2
12回目	第7章 口腔と全身の健康管理 1, 2, 3, 4	勝田 2
13回目	第7章 口腔と全身の健康管理 5, 6	勝田 2
14回目	第8章 情報リテラシー	勝田 2
15回目	第9章 コミュニケーション	勝田 2

**評価方法** 出席状況(2/3以上)および期末テスト(60%以上)で評価する。

total

30

**教科書** 最新歯科技工士教本 歯科技工士管理学 全国歯科技工士教育協議会編集

**副読本・資料** 各項目ごとのプリント

**その他** 次回の講義内容を各自予習して授業に臨むこと



# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.6

授業科目名	解剖学基礎 I	講義 実技 演習	担当教員 神奈川歯科大学 特任教授 松尾雅斗 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
単位	3 単位		〒 238 - 8580 横須賀市稲岡町82 神奈川歯科大学  TEL 046- 822- 8845 携 帯 080 1110 5011 E-mail <a href="mailto:m.matsuo@kdu.ac.jp">m.matsuo@kdu.ac.jp</a>
分類	必修 選択必修		
学年	1年 ・ 2年		
学期	前期 ・ 後期		
曜日・回数	月・火 曜日 13 /28 回 26/56時間		
時 限	2・3 限 10:40~12:10 13:00~14:30		

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

※歯の生物学的特性 歯の外形と内形 歯の種類と名称と記号 歯の方向と部位 歯の形態と植立様式 永久歯の形態的特徴 歯の組織と歯周組織の構造  
 歯の発生、発育および交換 歯と歯周組織および顎口腔の加齢現象 歯の数、形態および色の異常 歯列と咬合について学ぶ ※頭蓋骨の構造 顎顔面の  
 筋の形態的特徴と機能 顎口腔の神経支配 顎関節の構造と機能 口腔と口蓋の構造 唾液腺の存在部位と役割 舌の構造と役割について学ぶ

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時 間
1 回目	歯の定義、機能、特性	2
2 回目	植立、外形と内形	2
3 回目	歯の種類と分類、歯の記号と歯式	2
4 回目	歯の名称、歯の形の概説	2
5 回目	上顎切歯、下顎切歯、犬歯	2
6 回目	上顎小白歯、下顎小白歯	2
7 回目	上顎大白歯、下顎大白歯	2
8 回目	乳歯	2
9 回目	歯の発生、歯の組織、歯周組織	2
10 回目	歯および歯周組織の加齢現象、歯の異常、歯列、咬合	2
11 回目	脳頭蓋骨、顔面頭蓋骨	2
12 回目	口腔周囲の筋と神経、顎関節	2
13 回目	口腔の隣接機関、口腔、口蓋、唾液腺	2
		2
		2

<b>評価方法</b>	total	28
-------------	-------	----

学期末テストによって評価する。

<b>教科書</b>	最新歯科技工士教本 口腔、顎顔面解剖学 全国歯科技工士教育協議会編集
<b>副読本・資料</b>	各項目ごとのプリント
<b>その他</b>	







# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.9

授業科目名	歯型彫刻基礎Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
単位	2	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  自宅 045 - 472 - 5101 携帯 - - E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	火 曜日 30回 60時間			
時 限	3・4時限 13:00~14:30 14:40~16:10			

## 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯冠修復物を製作できるようにするために、天然歯の歯冠形態及び特徴に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容	（進度・予定）	備 考	時間
1~11回	歯型彫刻 石膏彫刻とデッサン(1回に彫刻1本、デッサン1枚)	担当 小口	44
12.13回	歯型彫刻 形態説明・彫刻	担当 小口	8
14.15回	歯型彫刻 彫刻刀の使い方等を1年に説明	担当 小口	8

評価方法		total	60
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</li> <li>・学期末テストによって評価する。</li> </ul>		
教科書	本校オリジナルの実習書を配布する。		
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
その他			

教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.10

授業科目名	顎口腔機能学	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部 福島 俊士 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
単位	2	単位	連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	木曜日	16回		32時間
時限	4限	14:40~16:10		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

- ※ 顎口腔系の構成要素ごとにそれぞれの機能を学習し、咬合器を通じてそれらを実現する製作手順を修得する。
- ※ 歯列・顎関節・筋肉・神経によって構成される顎口腔系の機能を説明できる。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1回目 顎口腔系の形態(1):歯と歯列・骨・筋		2
2回目 顎口腔系の形態(2):顎関節・軟組織・神経		2
3回目 顎口腔系の機能	小テスト(1)	2
4回目 下顎位		2
5回目 下顎運動(1)下顎の基本運動		2
6回目 下顎運動(2)下顎の限界運動・機能運動		2
7回目 歯の接触様式(咬頭嵌合位)	小テスト(2)	2
8回目 歯の接触様式(偏心咬合位)		2
9回目 咬合器:機構と分類・フェイスボウトランスファー・咬合採得	小テスト(3)	2
10回目 咬合検査と顎機能障害		2
11回目 国家試験対策①		2
12回目 国家試験対策②		2
13回目 口腔内を印象から作業模型の製作法を習得する		2
14~15回 顔弓を用いてフェイスボウトランスファーができるようにする		4
16回目 顎路角と切歯路角の調整が出来るようにする		2

評価方法

total

32

学期末テストによって評価する。小テスト、提出物も含める

教科書	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.11

授業科目名	歯科理工学 基礎 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
単位	1	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	火 曜日	15 回		30時間
時限	1限	9:00~10:30		

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

※歯科医療で使用される高分子材料、セラミック材料、複合材料の基礎知識と製作過程を学ぶ。  
 ※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来る人材を育成する。

授業計画・内容	(進度・予定)	備考	時間
1回目	歯科技工と歯科理工学 講義ガイダンス		2
2回目	物質の構造、機械的性質と試験法		2
3回目	歯科材料の性質		2
4回目	印象材 ハイドロコロイド系		2
5回目	印象材 ラバー系、非弾性、模型材との関係		2
6回目	模型材 石膏の種類		2
7回目	石膏の一般的性質		2
8回目	原型 ワックス		2
9回目	レジン 加熱、常温重合の組成		2
10回目	加熱重合レジン製作		2
11回目	常温重合レジン、一般的性質、その他の成形法		2
12回目	義歯床関連材料、硬質レジン		2
13回目	陶材焼成		2
14回目	陶材の性質		2
15回目	焼付用陶材 オールセラミック その他の歯科材料		2

**評価方法**

total 30

学期末試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.12

授業科目名	歯科理工学 基礎 II	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
単位	1	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	火 曜日	15 回		30時間
時限	1・4 限	9:00~10:30 14:40~16:10		

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科医療で使用される金属材料の基礎知識と製作過程で使用される器具機材について学ぶ。  
 ※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1 回目	主な歯科用金属 歯科用合金	2
2 回目	貴金属合金	2
3 回目	非貴金属合金	2
4 回目	歯科用金属まとめ	2
5 回目	鑄造理論 埋没材	2
6 回目	石膏系、非石膏系埋没材	2
7 回目	埋没、加熱操作	2
8 回目	鑄造操作	2
9 回目	鑄造機の種類、鑄造体の処理	2
10回目	鑄造欠陥	2
11回目	金属の加工、接合	2
12回目	合金の熱処理 その他の歯科材料	2
13回目	補綴物の仕上げ 機械研磨、化学研磨	2
14回目	補綴物の仕上げ 器具、機械	2
15回目	補綴物の安定性 歯科技工の安全性	2

### 評価方法

total

30

学期末試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.13

授業科目名	歯科理工学応用	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
単位	2	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月 曜日	16回		32時間
時限	3限	13:00 ~ 14:40		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科理工学基礎1, 2で修得した知識を基に歯科医療で使用される各材料、器具機材の応用知識と製作方法を学ぶ。  
 ※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1回目 東京都問題の検証と解説、歯科材料の性質、印象採得編		2
2回目 東京都問題の検証と解説、模型材(石膏)、原形(ワックス)編		2
3回目 東京都問題の検証と解説、レジン成形、セラミック成形編		2
4回目 東京都問題の検証と解説、合金、埋没材編		2
5~6回 東京都問題の検証と解説、鋳造、加工、接合、熱処理、仕上げ編		4
7回目 1 埼玉問題の検証と解説		2
8回目 2 埼玉問題の検証と解説		2
9回目 1 千葉問題の検証と解説		2
10回目 2 千葉問題の検証と解説		2
11回目 1 北海道問題の検証と解説		2
12回目 2 北海道問題の検証と解説		2
13回目 1 大阪問題の検証と解説		2
14回目 2 大阪問題の検証と解説		2
15~16回 1、2 宮城問題の検証と解説		4

評価方法

total

32

学期末試験、卒業試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.14

授業科目名	歯科理工学実習	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道	
単位	1	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期			TEL 045 - 472 - 5223	
曜日・回数	火～金 曜日 15回 30時間			携帯 - -	
時限	1時限～4時限まで 9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

歯科材料の基礎的な製作過程と歯科技工に用いる使用機器、機材の扱い方と特性を実習をとおして理解する

授業計画・内容	（進度・予定）	備考	時間
1～8回	石膏の操作練習 石膏材料の操作を習得する	担当 永嶋	16
9～12回	ワックスの操作練習 ワックス材料の操作を習得する	担当 永嶋	8
13～15回	レジンの操作練習 レジン材料の操作を習得する	担当 永嶋	6

評価方法	total	30
------	-------	----

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	
副読本・資料	資料およびレジメなどは必要に応じて配付
その他	

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.15

授業科目名	歯科理工学実験	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
単位	1	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	火 曜日	8回		32時間
時限	3・4限	13:00~14:30 14:40~16:10		

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

歯科技工材料の基礎知識と実験機器、機材の扱い方と特性を実験を通して理解する。

授業計画・内容	(進度・予定)	備 考
1 回目	石膏の硬化膨張	担当 永嶋 4
2 回目	埋没材の熱膨張	担当 永嶋 4
3 回目	金属の加工硬化	担当 永嶋 4
4 回目	ワックスの性質	担当 永嶋 4
5 回目	レジンの重合	担当 永嶋 4
6 回目	印象材の硬化時間	担当 永嶋 4
7 回目	鑄造体の適合性	担当 永嶋 4
8 回目	陶材の焼成	担当 永嶋 4

**評価方法**

32

実験データをレポートにまとめ提出

教科書	
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.16-1

授業科目名	有床義歯技工学 (全部床義歯)	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学 歯学部 石川 千恵子 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美
単位	2	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月曜日 15 / 30回 30/60時間			
時限	3限 13:00 ~ 14:30			

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

- ※ 全部床義歯製作の順序を理解する。
- ※ 全部床義歯製作のための技工操作を修得する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1回目	全部床義歯技工学概説と製作順序	2
2回目	全部床義歯の特性 生体についての基礎知識	2
3回目	印象採得・解剖学的ランドマーク・印象とトレー・精密印象	2
4回目	作業模型の処理・咬合床の製作・咬合器・咬合器装着	2
5回目	人工歯の種類と選択 排列・歯肉形成	2
6回目	埋没の前準備と埋没 流蠟・義歯床用レジンの重合	2
7回目	咬合器の再装着・人工歯の削合・研磨	2
8回目	生体についての基礎知識 形態的・機能的基礎知識	2
9回目	全部床義歯の特性	2
10回目	全部床義歯の製作順序	2
11回目	印象採得・解剖学的ランドマーク・無歯顎の対向関係	2
12回目	無歯顎印象とトレー・精密印象と作業模型	2
13回目	咬合採得に伴う技工作業・歯科医師による咬合採得	2
14回目	咬合器装着と調節・Go-A描記装置の取り付け・再装着	2
15回目	修理・リベースとライン・金属床	2

### 評価方法

total

30

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	教員 三又 真奈美 ※歯科技工所勤務経験 有



教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.16-2

授業科目名	有床義歯技工学 (部分床義歯)	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部歯科補綴学 鶴見大学歯学部有床義歯 新保秀仁 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又真奈美
単位	2	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月曜日 15/30回 30/60時間			
時限	2限 10:40 ~ 12:10			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※部分床義歯の構成要素、設計、製作方法を学ぶ

※部分欠損の障害、治療計画を学ぶ

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1回目 部分床義歯の特性、製作順序、構成要素		2
2回目 部分床義歯の特性、義歯の分類		2
3回目 印象採得、咬合採得		2
4回目 クラスプの製作、サベイング		2
5回目 支台装置		2
6回目 連結子、義歯床、人工歯		2
7回目 バーの製作、排列から完成		2
8回目 欠損による分類方法		2
9回目 印象採得		2
10回目 咬合採得、咬合器装着		2
11回目 クラスプの製作		2
12回目 部分床義歯の構成要素		2
13回目 排列、重合、研磨完成		2
14回目 オーバーデンチャー、金属床義歯		2
15回目 ハンクラスプデンチャー、ジルコニアフレーム		2

評価方法	total	30
------	-------	----

学期末テストおよび小テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	教員 三又 真奈美 ※歯科技工所勤務経験 有

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.17

授業科目名	有床義歯技工学 応用	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
単位	2	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	木・金 曜日	16 回		32時間
時限	1・2限	9:00~10:30		10:40~12:10

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

全部床義歯並びに部分床義歯を製作できるようにするために、義歯に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

### 授業計画・内容 (進度・予定)

回数	内容	備考	時間
1 回目	有床義歯技工学概説、全部床義歯の製作	教科書 P.3~47	2
2 回目	全部床義歯の製作、咬合器装着から義歯の研磨	教科書P.48~102	2
3 回目	部分床義歯の構成要素と各分類、支台装置の種類	教科書P.104~146	2
4 回目	部分床義歯の連結装置、義歯床、人工歯、	教科書P.147~157	2
5 回目	部分床義歯の製作	教科書P.158~230	2
6 回目	義歯修理、リベース、オーバードンチャー、金属床、その他の有床義	教科書P.231~273	2
7 回目	有床基礎知識の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
8 回目	全部床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
9 回目	全部床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
10回目	部分床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
11回目	部分床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
12回目	修理等の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
13回目	過去の国家試験問題を利用した問題の解答・解説		2
14回目	過去の国家試験問題を利用した問題の解答・解説		2
15~16回	国試対策、全部床義歯の問題の傾向と対策		4

### 評価方法

total

32

学期末テストによって評価する。

**教科書** 最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集

**別読本・資料** 各項目ごとのプリント

**その他**

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.18-1

授業科目名	有床義歯技工学基礎実習 (全部床)	講義 <b>実技</b> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美 ※歯科技工所勤務経験 有
単位	3	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	<b>必修</b> ・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	<b>1年</b> ・2年			携 帯 - -
学期	<b>前期</b> ・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月～金 曜日	45回		90時間
時 限	1時限～4時限まで	9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10		

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

無歯顎患者に対する治療の流れに沿った実習を行い、全部床義歯の製作方法を習得する。

授業計画・内容 (進捗・予定)	備 考	時 間
1～3回 咬合床の製作	基礎床の成型	担当 三又 6
4～5回 咬合床の製作	咬合提の成型	担当 三又 4
6～10回 全部床義歯の製作	製作法を習得する	担当 三又 10
11～12回 全部床義歯の製作	咬合器装着	担当 三又 4
13～19回 全部床義歯の製作	蠟義歯製作・人工歯排列	担当 三又 14
20～24回 全部床義歯の製作	蠟義歯製作・歯肉形成	担当 三又 10
25～32回 全部床義歯の製作	床材料の置換	担当 三又 16
33～38回 全部床義歯の製作	咬合調整	担当 三又 12
38～45回 全部床義歯の製作	研磨・完成	担当 三又 14

評価方法		total	90
------	--	-------	----

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学
その他	

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.18-2

授業科目名	有床義歯技工学基礎実習 (部分床)	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
単位	2	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月～金 曜日 30回	60時間		
時限	1時限～4時限まで	9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10		

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

部分床義歯の製作を通して、模型の調査方法や維持装置の製作方法を習得する。

授業計画・内容 (進度・予定)		備考	時間
1～2回	部分床義歯の製作 設計	担当 永嶋	4
3～6回	部分床義歯の製作 模型調査	担当 永嶋	8
7～11回	部分床義歯の製作 維持装置の製作	担当 永嶋	10
12～14回	部分床義歯の製作 蠟義歯製作・人工歯排列	担当 永嶋	6
15～17回	部分床義歯の製作 蠟義歯製作・歯肉形成	担当 永嶋	6
18～27回	部分床義歯の製作 床材料の置換	担当 永嶋	20
28～30回	部分床義歯の製作 研磨・完成	担当 永嶋	6

評価方法	total	60
------	-------	----

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学
その他	

教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.19

<b>授業科目名</b>	有床義歯技工学 応用	講義 <b>実技</b> 演習	<b>担当教員</b>	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
<b>単位</b>	6	<b>単位</b>	<b>連絡先</b>	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
<b>分類</b>	<b>必修</b> ・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
<b>学年</b>	1年 ・ <b>2年</b>			<b>携帯</b> - -
<b>学期</b>	<b>前期</b> ・ <b>後期</b>			<b>E-mail</b> <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
<b>曜日・回数</b>	月～金 曜日	90回		180時間
<b>時 限</b>	1時限～4時限まで			9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				

※有床義歯の製作できるようにするために、口腔内での機能及び形態に関する知識、技術を習得して身に付ける。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時 間
1～31回目	人工歯の排列法を反復練習で習得して実践できるようになる。	64
32～35回	維持装置の屈曲の方法を習得して実践できるようになる。	8
36～58回	全部床義歯の製作工程を理解して実践できるようになる。	46
59～90回	金属床を使用した部分床義歯の製作法を習得する。	62
<b>評価方法</b>	total	180
提出作品と学期末テストによって評価する。		
<b>教科書</b>	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集	
<b>副読本・資料</b>	各項目ごとのプリント	
<b>その他</b>		

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.20

授業科目名	歯冠修復技工学 基礎	講義 実技 演習	担当教員	山本 歯科医院 山本 鉄雄 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁	
単位	3	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  TEL 045 - 472 - 5223 携 帯 - - E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	月曜日	25回			50時間
時 限	1限	9:00 ~ 10:30			

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯冠修復治療の手順と補綴物の具備すべき要件を理解し、機能の回復および歯周組織との調和に必要な知識を学ぶ。  
 ※機器と材料の特徴を理解し、機能的および形態的に残存歯牙と調和の取れた補綴物を製作するための基礎的なことを学ぶ。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1回目 1歯冠修復技工学の概要 2クラウンの概要と種類		2
2回目 4クラウンとブリッジの具備要件6歯冠修復物と部分被覆冠 7全部被覆冠		2
3回目 4クラウンとブリッジの具備要件3 ブリッジの概要と種類		2
4回目 8ブリッジ		2
5回目 5 クラウンとブリッジの製作(1臨床ステップの概要 3研究用模型スタディモデル)		2
6回目 5 クラウンとブリッジの製作(4印象用トレー 5支台築造)		2
7回目 5 クラウンとブリッジの製作(6テンポラリークラウン・ブリッジ 7色調選択)		2
8回目 5 クラウンとブリッジの製作(8作業用模型 9咬合器装着)		2
9回目 5 クラウンとブリッジの製作(10クラウンに与える咬合 11ワックスアップ)		2
10回目 5 クラウンとブリッジの製作(12埋没 13鋳造作業 14 連結法)		2
11回目 5 クラウンとブリッジの製作(15調整 16研磨 17試適・仮着・合着)		2
12回目 5 クラウンとブリッジの製作(18レジン前装冠 19陶材の築盛・焼盛 20クラウンの不具合の原因)		2

### 評価方法

中間試験および学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.20-2

授業科目名	歯冠修復技工学 基礎 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: inline-block; text-align: center; vertical-align: middle; margin: 2px;">講義 実技 演習</div>	担当教員	山本歯科医院 山本 鉄雄 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁	
13回目	5 クラウンとブリッジの製作(1臨床ステップの概要 3研究用模型スタディモデル)			2
14回目	5 クラウンとブリッジの製作(3研究用模型スタディモデル 4印象用トレー)			2
15回目	5 クラウンとブリッジの製作(4印象用トレー 5支台築造)			2
16回目	5 クラウンとブリッジの製作(6テンポラリークラウン・ブリッジ 7色調選択)			2
17回目	5 クラウンとブリッジの製作(8作業用模型 9咬合器装着)			2
18回目	5 クラウンとブリッジの製作(10クラウンに与える咬合 11ワックスアップ)			2
19回目	5 クラウンとブリッジの製作(12埋没 13鑄造作業 14 連結法)			2
20回目	5 クラウンとブリッジの製作(15調整 16研磨 17試適・仮着・合着)			2
21回目	5 クラウンとブリッジの製作(18レジン前装冠 19陶材の築盛・焼盛 20クラウンの不具合の原因)			2
22回目	6 歯冠修復物と部分被覆冠 7全部被覆冠(レジン前装冠 陶材焼付金属冠)			2
23回目	7 全部被覆冠(ジャケットクラウン) 8 ブリッジ			2
24回目	8 ブリッジ 9 インプラント			2
25回目	9 インプラント 10 CAD/CAMシステム			2
			total	50
<b>評価方法</b>	中間試験および学期末テストによって評価する。			
<b>教科書</b>	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集			
<b>副読本・資料</b>	各項目ごとのプリント			
<b>その他</b>				





# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.22

授業科目名	歯冠修復技工学基礎実習	講義 <b>実技</b> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
単位	1	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	<b>必修</b> ・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	<b>1年</b> ・2年			携 帯 - -
学期	<b>前期</b> ・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	火～金 曜日	23回		46時間
時 限	1時限～4時限	9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10		

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する基礎的な器材の取り扱いについて修得する。  
歯冠修復における治療の流れを理解し、技工作業を行う。

授業計画・内容	(進捗・予定)	備 考	時 間
1～2回	インレーの製作 蠟原型製作	担当 勝田	4
3～5回	インレーの製作 埋没・鋳造・研磨・完成	担当 勝田	6
6～10回	クラウンの製作 模型製作	担当 勝田	10
11～16回	クラウンの製作 蠟原型製作	担当 勝田	12
17～18回	クラウンの製作 埋没・鋳造	担当 勝田	4
19～23回	クラウンの製作 研磨・完成	担当 勝田	10

<b>評価方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</li> </ul>	total	46
<b>教科書</b>	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
<b>副読本・資料</b>	・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学		
<b>その他</b>			

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.23

授業科目名	歯冠修復技工学応用実習	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
単位	5	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月～木	曜日 75回		150時間
時限	1時限～4時限まで			9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識及び技術について修得する。

授業計画・内容 (進捗・予定)	備 考	時間
1～2回 レジン前装冠の製作	模型製作	担当 勝田 4
3～5回 レジン前装冠の製作	蝟原型製作	担当 勝田 6
6～10回 レジン前装冠の製作	窓開け	担当 勝田 10
11～14回 レジン前装冠の製作	埋没・鑄造	担当 勝田 8
15～19回 レジン前装冠の製作	前装部形態修整	担当 勝田 10
20～23回 レジン前装冠の製作	歯冠色レジンの築盛	担当 勝田 8
24～27回 レジン前装冠の製作	レジン部形態修整	担当 勝田 8
27～28回 レジン前装冠の製作	研磨・完成	担当 勝田 4
29～34回 ブリッジの製作	模型製作	担当 勝田 12
35～44回 ブリッジの製作	蝟原型製作	担当 勝田 20
45～52回 ブリッジの製作	埋没・鑄造	担当 勝田 16
53～56回 ブリッジの製作	メタル調整・レジン築盛	担当 勝田 8
57～62回 ブリッジの製作	レジン部形態修整	担当 勝田 12
63～69回 ブリッジの製作	研磨・完成	担当 勝田 14
70～75回 ク라운の反復練習	蝟原型製作の習得	担当 勝田 10

**評価方法**

total

150

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

**教科書**

・本校オリジナルの実習書を配布する。

**副読本・資料**

・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学

**その他**

## 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.24

授業科目名	歯冠修復先進技工実習	講義 <u>実技</u> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
単位	4	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	<u>必修</u> ・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・ <u>2年</u>			携 帯 - -
学期	<u>前期</u> ・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	金 曜日 60回 120時間			
時 限	1・2時限 9:00～10:30 10:40～12:10			

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※

新しく開発された歯冠修復の技術や材料を使いこなせるようになるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。

授業計画・内容（進度・予定）	備 考	時 間
1～26回 ク라운の製法と知識を習得する	担当 勝田	52
27～47回 CAD/CAMを使用したクラウンの製法と知識を習得する	担当 勝田	42
48～52回 プロビジョナルの製法と知識を習得して説明できるようにする	担当 勝田	10
53～60回 特別講師によるポーセレンの築盛法の技術と知識を習得する。	担当 片川	16

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</li> <li>・学期末テストによって評価する。</li> </ul>	total	120
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
その他			

教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.25

## 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.26

授業科目名	小児歯科技工学実習	講義 <u>実技</u> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
単位	1	単位	<b>連絡先</b>	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	<u>必修</u> ・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・ <u>2年</u>			携 帯 - -
学期	<u>前期</u> ・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月~木 曜日 15回	30時間		
時 限	1~4時限	9:00~10:30 10:40~12:10 13:00~14:30 14:40~16:10		

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

※ 小児の補綴物を製作できるようにするために、乳歯の特徴と成長発育に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 (進捗・予定)	備 考	時 間
1~5回 アダムススプリング 製作	補綴物の説明・製作ができる	担当 小口 10
16~15回 固定性保隙装置 製作	補綴物の説明・製作ができる	担当 小口 20

<b>評価方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</li> </ul>	total	30
<b>教科書</b>	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
<b>副読本・資料</b>	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
<b>その他</b>			

教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.27

授業科目名	矯正歯科技工学基礎 <b>講義</b> 実技 演習	担当教員	野田歯科医院 野田 晃司
単位	1 単位	連絡先	
分類	<b>必修</b> ・選択必修		
学年	1年・ <b>2年</b>		
学期	<b>前期</b> ・後期		
曜日・回数	木曜日 8回 16時間		
時限	3限 13:00 ~ 14:30		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※矯正歯科技工学の基礎や治療のメカニズムを理解し、矯正装置の種類、製作法を習得する。  
 ※各種不正咬合に対応した矯正装置を適切に制作できる人材を育成する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1 回目 矯正歯科技工学概論		2
2 回目 正常咬合と不正咬合		2
3 回目 矯正治療の進め方と矯正装置の選択		2
4 回目 矯正器具、器材		2
5 回目 矯正装置の種類・分類		2
6 回目 矯正治療(矯正装置の使用法)		2
7 回目 矯正線の屈曲法(実習)		2
8 回目 自在鑱付け(実習)		2

評価方法

total

16

小テスト、提出物、学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.28

授業科目名	矯正歯科技工学実習	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
単位	1	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月～木 曜日 15回	30時間		
時限	1～4時限	9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯科矯正治療の補綴物を製作できるようにするために、矯正のメカニズムと各種装置に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1～6回 矯正装置 製作	補綴物の説明・製作ができる	担当 小口 12
7～12回 保定装置 製作	補綴物の説明・製作ができる	担当 小口 12
13～15回 平面屈曲	屈曲を習得する	担当 小口 6

評価方法		total	30
------	--	-------	----

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.29-1

授業科目名	先進技工実習 I	講義 <u>実技</u> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美 ※歯科技工所勤務経験 有
単位	2	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  TEL 045 - 472 - 5223  携 帯 - -  E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	月～金 曜日	30回 60時間		
時 限	1～4時限 <small>9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10</small>			

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

※ 新しく開発された技術や材料を使いこなせる様になるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。

授業計画・内容 (進捗・予定)	備 考	時間
1～11回 CAD/CAM練習 CADの操作を習得する	担当 三又	22
12～30回 CAD/CAM練習 CADのデザインを習得する	担当 三又	38

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</li> <li>・学期末テストによって評価する。</li> </ul>	total	60
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
その他			



# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.29-2

授業科目名	先進技工実習 I	講義 <b>実技</b> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美 ※歯科技工所勤務経験 有	
単位	1	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  TEL 045 - 472 - 5223 携 帯 - - E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
分 類	必修・選択必修				
学 年	1年 ・ 2年				
学 期	前期 ・ 後 期				
曜日・回数	火 曜日	15回			30時間
時 限	4時限	14:40~16:10			

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 新しく開発された技術や材料を使いこなせるようになるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
15回 CAD/CAM練習	CADのデザインを習得する	30

<b>評価方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。</li> <li>・学期末テストによって評価する。</li> </ul>	total	30
<b>教科書</b>	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
<b>副読本・資料</b>	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
<b>その他</b>			

教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.30

授業科目名	先進技工実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
単位	1	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8 TEL 045 - 472 - 5223 携 帯 - - E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	火～金 曜日 23回	46時間		
時 限	1～4時限	9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 新しく開発された技術や材料を使いこなせる様になるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1～11回 マウスガード 製作 製作法を習得する	担当 小口	30
12～36回 マウスガード 製作 使用感などを理解する	担当 小口	16

評価方法	total	46
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</li> <li>・学期末テストによって評価する。</li> </ul>		
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。	
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付	
その他		

## 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.31

授業科目名	総合歯科実習 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
単位	3	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携 帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月～金 曜日	60回		120時間
時 限	1時限～4時限まで	9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10		

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

模型製作の方法と制限時間内に石膏模型を製作する技術を習得する。  
部分床義歯の石膏埋没方法の習得と完成に至るまでの過程技術の習得

授業計画・内容	（進度・予定）	備 考	時間
1～6回	模型製作	練習用模型製作	担当 勝田 12
9～15回	クラウンの反復練習	蝟原型製作の習得	担当 勝田 18
16～21回	合同実習	他業種連携における知識の習得	担当 勝田 12
22～41回	全部床義歯反復練習	前歯排列までを習得	担当 勝田 40
42～50回	定期試験受験用模型製作	前期校内試験用の模型製作	担当 勝田 18
51～60回	ワイヤー屈曲実習	屈曲の基礎を習得する	担当 勝田 20

### 評価方法

total 120

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

### 教科書

・本校オリジナルの実習書を配布する。

### 副読本・資料

・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学・歯冠修復技工学

### その他

# 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.32

授業科目名	総合歯科実習Ⅱ	講義 <b>実技</b> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
単位	5	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  TEL 045 - 472 - 5223 携 帯 - - E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
分類	<b>必修</b> ・選択必修			
学年	<b>1年</b> ・2年			
学期	前期・ <b>後期</b>			
曜日・回数	月～金 曜日	100回 200時間		
時 限	1時限～4時限まで <small>9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10</small>			

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

人工歯排列や線屈曲、歯冠修復補綴物の反復練習により、基礎的手技の向上を目指す。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1～12回 模型製作	練習用模型製作	担当 永嶋 24
13～32回 ブリッジ、前装冠、クラウン ワックスアップ	ブリッジ、前装冠、クラウン反復練習	担当 永嶋 40
33～62回 全部床義歯反復練習	前歯排列までを習得	担当 永嶋 60
63～72回 定期試験受験用模型製作	前期校内試験用の模型製作	担当 永嶋 20
73～90回 ワイヤー屈曲実習	屈曲の基礎を習得する	担当 永嶋 36
91～100回 マウスガード 製作	製作法を習得する	担当 三又 20

<b>評価方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</li> </ul>	total	200
<b>教科書</b>	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
<b>副読本・資料</b>	・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学・歯冠修復技工学		
<b>その他</b>			

## 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.33

<b>授業科目名</b>	総合歯科実習Ⅲ	<small>講義 <b>実技</b> 演習</small>	<b>担当教員</b>	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美 ※歯科技工所勤務経験 有
<b>単位</b>	3	<b>単位</b>	<b>連絡先</b>	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  TEL 045 - 472 - 5223 携 帯 - - E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
<b>分類</b>	<b>必修</b> ・ 選択必修			
<b>学年</b>	1年 ・ <b>2年</b>			
<b>学期</b>	<b>前期</b> ・ 後期			
<b>曜日・回数</b>	火～金 曜日 45回 90時間			
<b>時 限</b>	1～4時限 <small>9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10</small>			

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

※ 歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容	(進捗・予定)	備 考	時間
1～32回	実習使用模型製作 作業模型の製作法の習得	担当 三又	64
33～37回	歯冠修復補綴物の反復練習 歯冠修復waxupを習得	担当 三又	10
38～40回	使用義歯への名前入れ 義歯の取り扱い等を習得	担当 三又	6
41～43回	職場見学 就職への対応を習得		6
44～45回	BLS講習 心肺蘇生、救護に 関する知識を習得する。		4

<b>評価方法</b>		total	90
-------------	--	-------	----

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。  
 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。  
 ・学期末テストによって評価する。

**教科書** ・本校オリジナルの実習書を配布する。

**副読本・資料** 資料およびレジュメなどは必要に応じて配付

**その他**

## 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.34

授業科目名	総合歯科実習Ⅳ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆	
単位	2	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  TEL 045 - 472 - 5223 携帯 - - E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	水～金 曜日	30回			60時間
時限	1～4時限				9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1～12回 実習使用模型製作	作業模型の製作法の習得	担当 小口 24
13～30回 前装冠 製作	前装冠の製作法の習得	担当 小口 36

評価方法		total	60
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
その他			

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・学期末テストによって評価する。

## 教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.35

授業科目名	国家試験各論 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆	
単位	1	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  TEL 045 - 472 - 5223 携 帯 - - E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
分類	必修・選択必修				
学年	1年・2年				
学期	前期・後期				
曜日・回数	月～金 曜日	8回			16時間
時 限	1～4時限				<small>9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10</small>

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※国家試験の出題科目である、口腔・顎顔面解剖学と顎口腔機能学の知識を習得する。  
 ※学生が各項目について説明することができ、使用器具を正しく選択、取り扱いが行うことができる。

授業計画・内容 (進捗・予定)	備 考	時間
1 回目 国家試験対策①		2
2 回目 国家試験対策②		2
3 回目 国家試験対策③		2
4 回目 国家試験対策④		2
5 回目 国家試験対策⑤		2
6 回目 国家試験対策⑥		2
7 回目 国家試験対策⑦		2
8 回目 国家試験対策⑧		2

評価方法	total	16
------	-------	----

学期末テストによって評価する。小テスト、提出物も含める

教科書	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学、顎口腔機能学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

令和 7 年 3 月 31 日

No.36

授業科目名	国家試験各論Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
単位	2	単位	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月～金 曜日	15回 30時間		
時限	1～4時限	9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※国家試験の出題科目である、小児歯科技工学・矯正歯科技工学・歯科技工士関係法規の知識を習得する。

※学生が各項目について説明することができるようになる。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1回目 国家試験対策①		2
2回目 国家試験対策②		2
3回目 国家試験対策③		2
4回目 国家試験対策④		2
5回目 国家試験対策⑤		2
6回目 国家試験対策⑥		2
7回目 国家試験対策⑦		2
8回目 国家試験対策⑧		2
9回目 国家試験対策⑨		2
10回目 国家試験対策⑩		2
11回目 国家試験対策⑪		2
12回目 国家試験対策⑫		2
13回目 国家試験対策⑬		2
14回目 国家試験対策⑭		2
15回目 国家試験対策⑮		2

評価方法

total

30

学期末テストによって評価する。小テスト、提出物も含める

教科書	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学、矯正歯科技工学、歯科技工士管理学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	